PC98-NX>U-X Mate



(Windows 2000 Professional/Windows NT 4.0 セレクタブルモデル)



は じ め に お読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。 本機ではWindows 2000 Professional(以降、Windows 2000)、またはWindows NT Workstation 4.0(以降、Windows NT 4.0)のいずれかのオペレーティングシステム1つを使用できます。はじめて本機の電源を入れたときに、使用するオペレーティングシス テムを選択してください。選択しなかったオペレーティングシステムをご利用になる場合は、 ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムをご購入していただく必要があります。 なお、本書に記載のイラストや画面はモデルにより異なります。また、実際の画面とは多少 異なることがあります。

操作の流れ	1	添付品の確認2 不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
	2	設置 13 設置する場所を決めます。
	3	添付品の接続
		使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページ をご覧ください。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』を お読みください。
		省スペース型の場合 15
		デスクトップ型の場合
		ミニタワー型の場合
	4	Windowsのセットアップ45
		はじめて電源を入れるときには、自分の名前などを登録して、Windowsをセッ トアップします。
	5	980FFICIAL PASSメンバーへの登録
		ユーザの登録をします。
	6	マニュアルの使用方法 55
		添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
	7	使用する環境の設定と上手な使い方
		使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。



型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレク ション型番と呼びます)またはフリーセレクション型番(フレーム型番 とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型 番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、 必ず控えておくようにしてください。



フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなく した場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

A	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxx	
[22:38 : PC-MAX0000000000]	

左が、スマートセレクション型番ょ右が、フリーセレクション型番」の ステッカーです。

スマートセレクション型番のステッカーの場合は、P.3 スマートセレ クション型番を控える へ、フリーセレクション型番のステッカーの場 合は、P.6 フリーセレクション型番を控える、へ進んでください。 スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.10「添付品を 確認する」へ進んでください。

● スマートセレクション型番を次の枠に控える





の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

\checkmark	型番	クロック周波数
	53	533MHz
	55	550MHz
	56	566MHz
	66	667MHz
	70	700MHz
	73	733MHz
	86	866MHz

CPUの種類を表しています。

\checkmark	型番	CPU の種類
	Н	Intel® Celeron™ プロセッサ
	J または T	Pentium [®] III プロセッサ

本体の型を表しています。

\checkmark	型番	本体の型
	C、L または Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

\checkmark	型番	ディスプレイの種類
	5	DV15A3
	9	FE90
	D	DV17D2
	E	F18S1W
	G	F15S32
	Ν	F15R42W
	R	F15T42
	Y	F14T52
	Z	なし

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

\checkmark	型番	選択アプリケーションの種類	
	1	Office 2000 Personal	
	2	Office 2000 Professional	
	3	ー太郎 10・花子10パック & 1-2-3 2000	
	Z	なし	

FDDまたはSDDおよび、CD-ROMまたはCD-R/RWのあるなし、キー ボードの種類を表しています。

~	型番	FDD または SDD	CD-ROM または CD-R/RW	キーボードの種類
	1	FDD	CD-R/RW	テンキー付きPS/2
				小型キーホード
	2	SDD	CD-R/RW	テンキー付きPS/2
		-		小型キーボード
	3	かし	かし	テンキー付き PS/2
	Ŭ		,	小型キーボード
	4	なし	なし	PS/2 109 キーボード
	5	なし	なし	USB 小型キーボード
	6	FDD	CD-R/RW	PS/2 109 キーボード
	7	FDD	CD-R/RW	USB 小型キーボード
	8	FDD	CD-R/RW	USB98 配列キーボード
	9	なし	なし	USB98 配列キーボード
	В	FDD	CD-R/RW	USB109 キーボード
	D	SDD	CD-R/RW	USB109 キーボード
	E	SDD	CD-R/RW	USB 小型キーボード
	F	SDD	CD-R/RW	PS/2 109 キーボード
	G	SDD	CD-R/RW	USB98 配列キーボード
	н	FDD	CD-ROM	USB 小型キーボード
	L	SDD	CD-ROM	USB109 キーボード
	М	FDD	CD-ROM	USB109 キーボード
	S	SDD	CD-ROM	USB98 配列キーボード
	Т	FDD	CD-ROM	PS/2 109 キーボード
	U	SDD	CD-ROM	PS/2 109 キーボード
	V	FDD	CD-ROM	USB98 配列キーボード
	W	SDD	CD-ROM	USB 小型キーボード

4

~	型番	FDD または SDD	CD-ROM または CD-R/RW	キーボードの種類
	х	FDD	CD-ROM	テンキー付きPS/2 小型キーボード
	Y	SDD	CD-ROM	テンキー付きPS/2 小型キーボード
	Z	なし	なし	USB109 キーボード

メモリの容量とネットワークボードの種類を表しています。

\checkmark	型番	メモリ容量	ネットワークボードの種類
	3	192MB	LAN ボード
	4	192MB	FAX モデムボード
	В	64MB	
	С	96MB	L A NI 11 – L
	D	128MB	
	E	256MB	
	U	64MB	
	V	96MB	┌∧⋎ ┰<i>╧</i>╽ ╬ <u></u> ┟
	W	128MB	
	Y	256MB	

ハードディスクドライブの容量を表しています。

 ✓ 	型番	ハードディスクドライブ容量
	A	10.0GB
	F	20.0GB
	G	30.0GB

上記の ~ のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次にP.10「添付品を確認する」に進んでください。

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、 P.10「添付品を確認する」へ進んでください。

● フレーム型番を次のチェック表にチェックする

	x00-00000	フレーム 刑 来
XXXX PC-MAXXXXX		
X0001 XX. X. X0000X	XX-X-X00000	
X00.00.00.0000		

PC-MA ZZ6

の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

\checkmark	型番	クロック周波数
	53	533MHz
	55	550MHz
	56	566MHz
	66	667MHz
	70	700MHz
	73	733MHz
	86	866MHz

CPUの種類を表しています。

~	型番	CPU の種類
	Н	Intel [®] Celeron™ プロセッサ
	J または T	Pentium [®] III プロセッサ

本体の型を表しています。

\checkmark	型番	本体の型
	C、L または Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

❷ コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする



6

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、 ~ はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選 択必須COP)。 ~ は選択したモデルやオプションによってステッ カーに記載されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ス テッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

PC-M-KB 2はキーボードの種類を表しています。(選択必須 COP)

\checkmark	型番	キーボードの種類
	10S	テンキー付きPS/2小型キーボード
	98U	USB98 配列キーボード
	PS2	PS/2 109 キーボード
	SMU	USB 小型キーボード
	USB	USB109 キーボード

PC-M-1H 3は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディスク ドライブ(プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必須COP)

\checkmark	型番	ハードディスクドライブ容量
	010	10.0GB
	020	20.0GB
	030	30.0GB

PC-M-ME 3はメモリの種類と容量を表しています。(選択必須 COP)

\checkmark	型番	メモリ	の種類と容量
	E06	SDRAM	64MB(ECC)
	E09	SDRAM	96MB(ECC)
	E12	SDRAM	128MB(ECC)
	E19	SDRAM	192MB (ECC)
	E25	SDRAM	256MB(ECC)
	N06	SDRAM	64MB
	N09	SDRAM	96MB
	N12	SDRAM	128MB
	N19	SDRAM	192MB
	N25	SDRAM	256MB
	R06	RDRAM	64MB(ECC)
	R12	RDRAM	128MB(ECC)
	R19	RDRAM	192MB(ECC)
	R25	RDRAM	256MB(ECC)

PC-M-CD は5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵機 器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(MA56H/Zはなし、その 他の機種は選択必須COP)

>	型番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDD2	CD-ROM
	CDR3	CD-R/RW

PC-M-FD は3.5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵 機器の種類を表しています。(MA56H/Z以外の省スペース型は選択必 須COP、その他はなし)

\checkmark	型番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	FDD1	FDD
	SDD2	SDD

PC-M-NE 3はネットワークボードの種類を表しています。 (MA70J/S、MA55J/SでLANボードの場合はなし、その他は選択必須 COP)

\checkmark	型番	ネットワークボードの種類
	LAH	I A XI -12 L*
	LAN	
	MDM	FAX モデムボード

PC-M-AC 1は筐体アクセントカラーの種類を表しています。(省 スペース型は選択必須COP、その他はなし)

\checkmark	型番	筐体アクセントカラーの種類
	BLK	プラック
	BLU	プルー
	MWH	ホワイト
	RED	レッド

 はディスプレイの種類を表しています。

(任意選択COP)

\checkmark	型番	ディスプレイの種類
	DV15A3	DV15A3
	DV17D2	DV17D2
	F14T52	F14T52
	F15R42W	F15R42W
	F15S32	F15S32
	F15T42	F15T42
	F18S1W-M	F18S1W-M 注意
	FE90-M	FE90-M 注意

注意 ディスプレイの箱、ディスプレイの保証書、ディスプレイの銘板、ディス プレイ添付のマニュアルにはF18S1W、FE90と書かれていますが、 F18S1WはF18S1W-Mと、FE90はFE90-Mと同じ商品です。

PC-M-AP **は選択アプリケーションの種類を表しています。** (任意選択COP)

\checkmark	型番	選択アプリケーションの種類
	JST2	ー太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000
	MSW2	Office 2000 Personal
	MSW3	Office 2000 Professional

PC-M-ES

1はESMPROを表しています。(任意選択COP)

\checkmark	型番	ESMPRO
	ESM	ESMPRO

PC-M-SC 2はSCSIボードを表しています。(任意選択COP)

\checkmark	型番	SCSI ボード
	UWS	Ultra SCSI インタフェースボード(Wide 対応)

PC-M-2H 3は内蔵3.5インチベイに搭載される追加ハードディ スクドライブ(プライマリスレーブ)の容量を表しています。(任意選択 COP)

\checkmark	型番	追加ハードディスクドライブ容量
	010	10.0GB (2ndHDD)
	020	20.0GB (2ndHDD)
	030	30.0GB (2ndHDD)

PC-M-ST 1は5インチベイに搭載される拡張ファイルベイ用内 蔵機器(セカンダリスレーブ)の種類を表しています。(省スペース型は なし、その他の型は任意選択COP)

>	型番	拡張ファイルベイ用内蔵機器の種類
	SDD	SDD
	ZIP	Zip ドライブ

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリス トを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損して いた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

下記の他にも注意書きの紙などが入っている場合があります。

箱の中身を確認する

P.3 ①またはP.6 ①、②の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています) 保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、 保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書 の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理 については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によっ て機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理い たします。詳しくは、保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです) 本体(ディスプレイやキーボードなど 添付品い の周辺機器を含まないMate キーボー

の周辺機器を含まないMate を指します) 添付品収納箱 キーボード マウス

— 1つにパックされています。



¹ Microsoft_® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_® 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf_® Basic)

² Microsoft_® Office 2000 Professional (Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_® 2000, Microsoft PowerPoint_® 2000, Microsoft Access 2000, Microsoft Publisher 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf_® Basic)

- ³³ 一太郎10·花子10パック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
- ^{*4} ESMPRO/ClientManager Ver 2.1/Ver 3.0/Ver 3.1、DeliveryManager Ver 4.0/Ver 4.1/Ver 5.0 /Ver 5.2/Ver 6.0(ライセンスFD)

____は、各々1つにパックされています。





マイクロソフト ウィンドウズ NT サービスパック6a CD-ROM 追加使用許諾契約書

ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RWの場合添付

Windows NT 4.0用の添付品

Easy CD Creator[™] 4 Standard/Direct CD[™] 3 CD-ROM

 ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの 箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確 認する

(P.4 ●・またはP.8 ●・でディスプレイのあるなし、種類がわかります)

④本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MA XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。 次のページの「2 設置」へ進んでください。



設置場所を決める



添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、 注意事項を守って正しくお使いください。



電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。

ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

● 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ~35 湿度20%~80% (ただし結露しないこと) 平らで十分な強度があり、落下のおそれがない (机の上など)

🗙 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなど を含んだMateを指します。)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の近く

たかにお使いいただくために

A

 直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら.....

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎 重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因と なります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続 できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでくだ さい。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保して ください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必 要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を 取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面 を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損 の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

Zipドライブ使用上の注意

Zip ドライブを搭載したデスクトップ型は、オプション製品「本体縦置き 台(PC-MA-K09)を使用できません。

以上で設置は完了です。 次のページの「3] 添付品の接続」へ進んでください。



添付品の接続

接続するときの注意

本機を接続するときは、コネクタの端子には、触れないでください。 故障の原因となります。 デスクトップ型の場合はP.27をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.36をご覧ください。

省スペース型の場合

スタビライザをセットする

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタ ビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態で は、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場 合は、転倒防止のため、必ず次のようにスタビライザをスタビライザ取り 付け用ネジで取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザ をセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある 方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプ レイなどを置くことができます。

● 机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

2つのスタビライザを次のようにかみ合わせる



●本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用 ネジ2個を使い取り付ける

本体を横にするときは、机やテーブルなどを傷つけたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをお勧めします。



次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、壁などと反 対側の側面のみにスタビライザを1つ取り付けることで設置することが できます。





1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、 必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

● 机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

❷本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する



3 1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り 付ける

本体の右側にセットする場合



本体の左側にセットする場合



添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、●または❷のどちらかで接続してください。

●USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウスのUSBコネクタ(黒)をアイコンの向きをあわせて キーボードのUSBコネクタに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合(ここではF18S1Wを例に 説明します)

液晶ディスプレイの側面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。





本体(背面)に接続する場合



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブ ルの抜け防止に役立ちます。

ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』 「PART2 周辺機器を利用する(省スペース型)」の「ケーブ ルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

本体(正面)に接続する場合

USBケーブルフックにケーブルを引っ掛けてから、USBコネ クタに接続する

USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。





②PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接 続する



ケーブルストッパを利用すると、盗難・抜け防止に役立ちます。 ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』 「PART2 周辺機器を利用する(省スペース型)」の「ケーブルス トッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶または❷のどちらかの方法で 接続してください。

ディスプレイによっては接続方法が異なる場合がありますので、ディ スプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

●アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合(ここではF18S1Wを例に説明します)

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のアナ ログRGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)のどちらを使用 しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプ レイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続し てください。



 ④デジタル液晶ディスプレイを接続する場合(ここではF14T52を例 に説明します)

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇) とコネクタの形状を確認し、本体のデジ タルRGBコネクタに接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジタル RGBコネクタに確実にロックされるまで手で押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



3. リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、のの手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する





●モジュラーケーブルを接続する場合

- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の 種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイ
 ド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボー
 ド」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(一合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを本体のアイコン表示(、、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



▲ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。

アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 _{東沢王章} 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

本機に添付のサービスコンセント付電源ケーブルをご使用になる前に、 下記の注意事項をよく読んでから接続してください。



サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は 接続しないでください。消費電力の大きな機器などに接続しま すと、火災の原因となります。



サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ 足配線をしないでください。

サービスコンセントで供給できる電源の容量は3Aまでです。

次のページのイラストを見て0~0の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

∂ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F18S1W) の場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があ ります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続し てください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグをサービスコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを 壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 P.45¹ Windowsのセットアップ」へ進んでください。

省スペース型の場合はP.15をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.36をご覧ください。

デスクトップ型の場合

本体には、約25kgまでのディスプレイなどをのせることができます。

添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶または❷のどちらかで接続してくだ さい。

●USB接続のキーボードを接続する場合(ここでは、USB 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウスのUSBコネクタ(黒)をアイコンの向きをあわせて キーボードに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合(ここではF18S1Wを例に 説明します)

キーボードを液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する その際、液晶ディスプレイの側面にあるUSBコネクタの、どち らを使用しても構いません。



本体に接続する場合



②PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶または❷のどちらかの方法で接続してください。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合がありますのでディス プレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

 CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合 (ここではDV17D2を例に説明します)

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なりますの で、機種とアナログRGBのコネクタの位置をよく確認してから接続 してください。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のアナ ログRGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)のどちらを使用 しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプ レイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続し てください。

MA70J/S、MA55J/Sの場合





◎デジタル液晶ディスプレイを接続する場合(ここではF14T52を例 に説明します)

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のデジ タルRGBコネクタに接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに確実にロックされるまで押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。

MA70J/S、MA55J/Sの場合





3. リンクケーブル 別売 またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、20の手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する

MA70J/S、MA55J/Sの場合





❷モジュラーケーブルを接続する場合

- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の 種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイ
 ド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボー
 ド」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(一合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示(、、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する 本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使

うことができます。

MA70J/S、MA55J/Sの場合





金全に関するご注意
 ション
 シー
 ション
 ション
 ション
 ション
 ション
 シー
 シー
 シ

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。

アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 東天王章 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次のページのイラストを見て、●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

Ωディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)の場合で す。ディスプレイによって接続方法が異なる場合がありますの で、ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続して ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む





以上で添付品の接続は完了です。 P.45「 4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。 省スペース型の場合はP.15をご覧ください。 デスクトップ型の場合はP.27をご覧ください。

ミニタワー型の場合

横置きにして使用する方へ...

本体を横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして置いてくだ さい。また、本体の上に約25kgまでのディスプレイなどを置くことができ ます。本体を横置きにして使用する場合、ファイルベイ用内蔵機器(CD-ROMなど)を入れ替えることで、利用しやすくなります。詳しくは、『ハー ドウェア拡張ガイド』「PART4 周辺機器を利用する(ミニタワー型)」 「ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け」「フロッピーディスク、 CD-ROMなどを使いやすくする(横置きに適した向きの変更)」をご覧く ださい。

添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶または❷のどちらかで接続してくだ さい。

●USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウスのUSBコネクタ(黒)を、アイコンの向きをあわせ てキーボードのUSBコネクタに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合(ここではF18S1Wを例に 説明します)

液晶ディスプレイの側面にある2つのUSBコネクタの、どちら を使用しても構いません。



本体(背面)に接続する場合



ケーブルストッパを利用すると、盗難・抜け防止に役立ちます。 ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』 「PART4 周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブ ルストッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。 **②**PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、盗難・抜け防止に役立ちます。 ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』 「PART4 周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルス トッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶または❷のどちらかの方法で 接続してください。

ディスプレイによっては、接続方法が異なる場合があります。ディス プレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

 CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合 (ここではDV17D2を例に説明します)

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタにアイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



④デジタル液晶ディスプレイを接続する場合(ここではF14T52を例 に説明します)

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のデジ タルRGBコネクタに接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで手で押し込んでくだ さい。 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)のどちらを使用 しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプ レイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続し てください。



3. リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、20の手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(🖧)に従っ て接続する マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



❷モジュラーケーブルを接続する場合

- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の 種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイ
 ド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボー
 ド」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(一合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示(、、、)に従って接続する モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

<u>႔</u> 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次のページのイラストを見て●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)の場合で す。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。 ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してくだ さい。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 次のページの「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、ご使用になるオペレーティングシ ステム(Windows 2000 または、Windows NT 4.0)を選択し、オペレーティ ングシステムのセットアップの作業が必要です。この作業には全部で 15分~1時間程度の時間がかかります。

セットアップをするときの注意

4

はじめて本機の電源を入れるときには、使用するオペレーティングシス テム(Windows 2000、またはWindows NT 4.0)を選択することができます が、Windowsのセットアップ終了後にオペレーティングシステムを変更 したい場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムを 購入していただく必要がありますのでご注意ください。

- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶 対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した 場合は、先に「 4 Windowsのセットアップ」から「 7 使用する環境の設 定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを 読んで接続や取り付けを行ってください。
- 途中で電源を切らない
 作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源
 スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原
 因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありま
 せんので、慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

●、のの順番に電源を入れてください。

● ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュ アルを参照してください。

CRT**ディスプレイ(** DV17D2) の場合

アナログ液晶ディスプレイ (F18S1W)の場合



● ディスプレイの電源スイッチ

夕本体の電源を入れる

省スペース型の場合 デスクトップ型の場合

000



ミニタワー型の場合



46

セットアップの作業手順

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に 手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故 障の原因になります。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、後述のP.53 セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

●電源ランプが点灯して、次の画面が表示されたら、使用するオペレーティングシステムを選択して【Enter】を押す



④ 使用するオペレーティングシステムを確認する画面が表示されたら、表示されている内容をよく確認して【F8】を押す

【F8】を押したあと、画面左上に「Starting Windows 98…」と表示されま す。これは、オペレーティングシステムをセットアップするために Windows 98の一部機能を使用しているためです。 Ghostについては、システムインストールディスク内の「Ghost.txt」を ご覧ください。

以降は、使用するオペレーティングシステムに従って、P.48[®] 1.Windows 2000のセットアップ」または、P.49[®] 2.Windows NT 4.0のセットアップ」 に進んでください。 Windows 2000のセットアップを開始します。 セットアップには、モデルにより異なりますが15分程度の時間がかかりま す。

- ●「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が 表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- ②「ライセンス契約」の画面が表示される

▼をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできません。

「次へ」ボタンをクリック

●「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更でき ません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セッ トアップ編』をご覧ください。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせて クリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同 じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

④「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で 変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないように してください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力 「次へ」ボタンをクリック

⑤「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が 表示されたら、「完了」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

- ④ 再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示 された場合は、「次へ」ボタンをクリック
- ⑦「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な 項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

③「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、 「完了」ボタンをクリック

手順ので「ユーザーはこのコンピュータを利用するとき、ユーザー名 とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合、「Windows への ログオン」の画面が表示されます。

手順②で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしば らくお待ちください。

これでWindows 2000のセットアップの作業は終了です。 次にP.52^r 電源を切る」へ進んでください。

2. Windows NT 4.0のセットアップ

Windows NT 4.0のセットアップを開始します。 セットアップには、モデルにより異なりますが1時間程度の時間がかかり ます。 セットアップを開始してから5~10分程度、画面が止まっているように見 えますが、セットアップ中ですので何も操作せずにお待ちください。

●しばらくすると、「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示される

▼をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできま せん。

「Windows NTセットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタン をクリックしてください。

②「名前と組織名」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更でき ません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セッ トアップ編』をご覧ください。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせて クリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同 じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

●「コンピュータ名」の画面でコンピュータ名を入力する コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

本機をLANに接続して利用する場合は、コンピュータ名をネットワーク管理者に ご相談ください。

「次へ」ボタンをクリック

④「管理者アカウント」の画面でパスワードを入力する

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。

パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶 対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入 力

「次へ」ボタンをクリック

「Windows NTセットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタン をクリックしてください。

途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまで数分から10数分かか ります。なにも操作せずにお待ちください。

●再起動の画面が表示されたら、「コンピュータの再起動」ボタン をクリック

いったん画面が真っ暗になり、自動的に再起動します。

- ③「ログオンの開始」の画面が表示されたら、キーボードの【Ctrl】 と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押す
- ⑦ 手順
 ④
 で
 設定したパスワードを
 入力し、
 OK ボタンを
 クリック

途中で何度か画面が変わり、③の画面が出るまでしばらくかかります。何も操作せずにお待ちください。

❸ しばらくしてInternet Explorerの「ようこそ」の画面が表示されたら、各項目の説明を読んだ後、≤をクリック

これでWindows NT 4.0のセットアップの作業は終了です。 次のページの「電源を切る」へ進んでください。

電源を切る

電源を切る場合は次の手順で正しく電源を切ってください。

- 1.Windows 2000の終了
- ●「スタート」ボタンをクリック
- ・シャットダウン」をクリック
- 「次の中から選んでください」の欄で「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

④ディスプレイの電源を切る

2.Windows NT 4.0の終了

●「スタート」ボタンをクリック

- ②「シャットダウン」をクリック
- ❸ シャットダウンを実行する

「シャットダウンする」をクリック

「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

④ディスプレイの電源を切る

セットアップ中のトラブル対策

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

・ 電源を入れて、表示される画面をチェックする

Windows 2000の場合

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セット アップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合も あります。)

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エ ラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファ イルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows 2000は起動しません。Windows 2000を再セットアップするか、ご購入 元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧 ください。

Windows NT 4.0の場合

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セット アップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合も あります。)

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。 「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示された場合は、シス テムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があり ます。この場合、Windows NT 4.0は起動しません。

Windows NT 4.0を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご 覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージ が表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、
 メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する

電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

5 980FFICIAL PASSメンバーへの 登録

> 添付の^{980FFICIAL PASS</sub>お客様登録申込書』をご覧になり、早めに980F-FICIAL PASSメンバーへの登録を行ってください。}

登録には、3種類の方法があります。

- インターネットのホームページからの登録
 「980FFICIAL PASSお客様登録カウンター」
 http://www.pc98.nec.co.jp/register/
- ・FAX用紙による登録(添付の『980FFICIAL PASSお客様登録申込書』)
- ・専用はがきによる登録(添付の^{980FFICIAL PASSお客様登録申込書』)}

e-mailアドレスを登録いただきましたお客様には、最新のドライバ情報を はじめとするさまざまな情報をお届けします(98MEMBER's LETTER)。

以上で98OFFICIAL PASSメンバーへの登録は完了です。 次のページの「 G マニュアルの使用方法」へ進んでください。 6

マニュアルの使用方法

本機に添付またば、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格 納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。 また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類を なくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」の 「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、「電子化マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「電子化マニュアル」の使用 方法については、P.57「電子化マニュアルの使用方法」をご覧ください。

『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する 前に必ずお読みください。

『Microsoft_® Windows_® 2000 Professional クイックスタートガイド』 Windows 2000の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したい ときにお読みください。

『Microsoft_® Windows NT_® Workstation ファーストステップガイド』 Windows NT 4.0の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認した いときにお読みください。

『活用ガイド 再セットアップ編』 本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

『活用ガイド ハードウェア編』

本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンドについて確認したいときにお読みください。

『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリケーションの概要と削除/追加、他のOSをセットアップすると きや、トラブルが起きたときにお読みください。

『ハードウェア拡張ガイド』

本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを 行うときにお読みください。 ディスプレイのユーザーズマニュアル

- 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデ ルの場合は、ディスプレイに添付されています(P.2⁻¹ 添付品の確 認」をご覧ください)。ご利用の前に、必ずお読みください。
- 本機とセットのディスプレイに添付のマニュアルには、Windows 2000の場合の設定方法が記載されていない場合があります。この場 合は、Windows 98と同等の設定方法で行ってみてください。 また、Windows 2000で液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続 されていることの確認については、下記の手順に従ってください。 「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリック

「システム」をダブルクリック

「ハードウェア」「デバイスマネージャー」ボタンをクリックし、 「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

「NEC USB Hub」が表示されていることを確認します。 NEC製USB接続キーボード(バスパワードハブ付き)を利用され ている場合は「NEC USB Hub」が2つ表示されます。

選択アプリケーションのユーザーズマニュアル

モデルによって、Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎 10・花子10パック、1-2-3 2000などのマニュアルが添付されています(P.2 「1添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

『NEC PCあんしんサポートガイド~ビジネスでお使いのお客さまへ~』 ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報に ついて知りたいときにお読みください。

『NEC PCあんしんサポートガイド』 パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網に ついて知りたいときにお読みください。

----- Microsoft**関連製品の情報について** ----

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発 者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用する ための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子化マニュアルの使用方法

電子化マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

NetPCモデル(MA56H/Z)をお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意 のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。

- CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする
- デスクトップ画面の「マイコンピュータ」から、CD-ROMドラ イブのアイコンをダブルクリック
- ❸「_manual」フォルダ内の「index 」ファイルをダブルクリック

「Mate 電子化マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル (ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAcrobat Reader 4.0をインストールしておく必要が あります。詳しくはMate 電子化マニュアル「アプリケーションの概要 と削除/追加」「Acrobat Reader 4.0」をご覧ください。

Windows 2000を使用する方へ...

- ・ あらかじめ、Acrobat Reader 4.0を起動しておいてください。
- アプリケーションエラーが発生した場合は、次のいずれかの方法を 行ってください。
 - Acrobat Reader 4.0を再起動する。
 - Windows 2000を再起動する。
 - ・ Acrobat Reader 4.0を削除してから、もう一度追加する。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクにコピーしてご利用 ください。その際、コピー先のフォルダ名はすべて英数字である必要が あります。「デスクトップ」など、日本語のフォルダにコピーすることは できません。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子 化マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ 「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- 次のWebサイト(PICROBO)ではNEC製の電子マニュアルをダウン ロードできるサービスを行っております。また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能 の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』および『活 用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

1. 補足説明を読む

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- ・「Mate 電子化マニュアル」を起動して、「補足説明」をクリック
- ・「スタート」ボタン 「プログラム」「補足説明」をクリック
- 2. Securityの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編』 「PART1 本体の構成各部」の「Mateセキュリティ/マネジメント機能」 をご覧ください。

BIOS LOCK

・指紋認証を利用する

別売の指紋認証(PK-FP002)を利用することで、本体起動時に BIOSレベルで指紋によるユーザー認証を行い、不正起動やBIOS の設定変更を確実に防止します。MA53H/Sは、指紋認証を利用し たBIOS LOCKができません。

・スマートカードを利用する

別売のスマートカードリーダ/ライタ(PK-SM001)とスマート カード(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることがで きます。MA53H/Sは、スマートカードを利用したBIOS LOCKが できません。

❷パスワードの設定

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本 機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することが できます。 €ハードディスクパスワード機能

本機で使用するハードディスクドライブにパスワードを設定する ことで、本機以外のパソコンでのハードディスクドライブの不正使 用を防止することができます。万一、ハードディスクドライブが盗 難にあって、他のパソコンに設置された場合でも、パスワードが必要 となるため、重要なデータの漏洩を防ぐことができます。省スペース 型、ミニタワー型の場合に利用できます。

@1/0**ロック**

フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどを利用できな いようにします。コンピュータウイルスの侵入を防いだり、パソコ ンのデータを無断コピーされたり、パソコンに悪影響を与えるおそ れのあるアプリケーションなどのインストールを未然に防止する ことができます。

●筐体ロック

内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難やスーパパイ ザパスワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、錠をかけ ることができます。

3. データのバックアップの設定

Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えな くなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じもの を作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバック アップをとるようおすすめします。

本機にはハードディスクドライブをバックアップするアプリケー ション(Masty Data Backup)がアプリケーションCD-ROM/マニュ アルCD-ROM」に添付されています。(SmallOffice向けモデル (MA56H/L)には添付されていません。)

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』 PART1 本体の構成各 部」の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド ソフトウェア編』 「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Masty Data Backup」を ご覧ください。

BIOSセットアップメニュー

「System backup reminder」を設定すると、本機起動時にバックアップ を行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことができます。 (MA53H/Sは、この機能を利用できません。) 詳しくば「活用ガイド ハードウェア編」「PART2 システム設定」の 「Securityの設定」をご覧ください。 工場出荷時に搭載されているハードディスクドライブには、ハード ディスクドライブ(プライマリマスタ)とモデルによっては追加ハー ドディスクドライブ(プライマリスレーブ)の2つがあります。工場出 荷時は、ハードディスクドライブの第1パーティション(Cドライブ)と して4GB(Windows 2000をご使用の場合はFAT32、Windows NT 4.0を ご使用の場合はFAT)の領域を、第2パーティション(Dドライブ)とし て残りの領域(NTFS)を確保しています。追加ハードディスクは、全領 域(NTFS)を確保しています。

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』『PART1 本体の構成各部」 の「ハードディスクドライブ」をご覧ください。

5. Microsoftデジタル署名について

Windows 2000では、Windows 2000のドライバおよびオペレーティン グシステムのファイルに、デジタル署名が施されているかを確認する ことができます。

本機に添付されているドライバ、アプリケーションをセットアップ、 追加する場合、署名ファイルがないため「デジタル署名が見つかりま せんでした」と表示される場合がありますが、動作に影響はありませ ん。「はい」をクリックしてセットアップ、追加を続けてください。

なお、お客様がご購入になったハードウェアのドライバなどで「デジ タル署名が見つかりませんでした」と表示される場合は、購入元にお 問い合わせください。

詳しくは、Windows 2000のヘルプをご覧ください。

6. 利用する添付アプリケーションの設定

VirusScan、Easy CD Creator、DirectCDなど

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan) がアプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されて います。またCD-R/RWドライブが搭載されているモデルでは、CD-RおよびCD-RWヘデータを書き込むアプリケーション(Easy CD CreatorとDirectCD)が Easy CD Creator™4 Standard / DirectCD™ 3 CD-ROM」に添付されています。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。 詳しくは"活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

7. 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6.0(with NEC Extensions), pcAnywhere 9.0 EX, CyberAccess

本機にはパソコンの情報を管理する機能 [Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)) 遠隔地からパソコンを操作 する機能 pcAnywhere 9.0 EX) システム管理者向けと一般ユー ザー向けの利用環境を設定する機能 CyberAccess を提供するアプ リケーションが アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」 に添付されています。(SmallOffice向けモデル(MA56H/L)は、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)とpcAnywhere 9.0 EXは添付されていません。)

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

- 8. 上手な使い方
 - ●トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決 Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

の本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスな ど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハード ウェア編』PART5 付録」の「本機のお手入れ」をご覧ください。 ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことが ありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱 丁本はお取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 2000またはWindows NT 4.0および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、および Windows NTロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 「一太郎」「花子」「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子10パック」にかかる 著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

VirusScanは米国法人Network Associates,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

pcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

lomega、Zipおよびそれらのロゴは、米国lomega社の商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商 標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

Savage4は、S3社の商標です。

Symantec Norton Ghost

© 1999 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 2000年 5月 ©NEC Corporation 2000 日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。 808-877675-157-A

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。